ＩＳＳＮ 0285－4767

北海道考古学会だより

第　111　号
２０１５．２．27

目　次

2015年度　北海道考古学会総会・研究大会の開催について……1
2015年度総会について……1
学会運営委員の改選－委員の推薦について－……1
監査委員の改選－監査委員の推薦について－……3
会誌編集委員の改選－編集委員の推薦について－……3
2015年度研究大会「サハリン・千島ルート」再考……4
2014年度遺跡調査報告会の実施報告……5
月例研究会のお知らせ……5
事務連絡……5
会費納入のお願い……5

2015年度　北海道考古学会総会・研究大会の開催について

2015年度総会について

2015年度総会を研究大会の昼食休憩前に同一会場にて開催します。総会は会員が会の運営に直接参加する重要な機会であり、また今回は運営委員の改選期にあたりますので、多くの会員の出席を期待します。なお、やむをえず欠席される予定の会員は、４月９日(木)(事務局必着）までに必ず委任状を提出されるようお願い致します。

日　時：2015年５月９日(土)　11：30～12：30
会　場：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟　１階W103教室（札幌市北区北９条西７丁目）

学会運営委員の改選ー委員の推薦についてー

北海道考古学会会則第６条、委員および委員会規則第２条、および委員会公募細則に基づき、2015年度から2016年度の北海道考古学会運営委員を下記のとおり推薦願います。

規則第５条および第６条の規定により、地域委員10名、運営委員16名以内が会員の推薦を受け、総会で選出されます。ただし、地域委員は事務局所在地区、および近隣地域からは選出されません。会員は、５名までの会員を運営委員として、所属する地区より１名を地域委員として、同封の葉書または同様式に準じた封書にて事務局まで推薦ください。

なお委員選任に関する規則を下記に抜粋掲載します。詳しくは2007年11月発行の名簿をご参照ください。

会則　（関係部分）
第６条　本会に次の役員をおきます。
　　(1) 会長　　１名
　　(2) 副会長　１名
　　(3) 地域委員　10名以内
　　(4) 運営委員　16名以内
　　(5) 監査委員　２名
　２　地域・運営・監査委員は、会員の推薦を得て総会で選出し、正副会長は委員の互選により決定します。
　３　会長は本会を代表し、副会長は会長を補佐します。地域委員は地域を代表し運営委員は本会の運営実務を担当し、監査委員は本会の会計を監査し総会に報告します。
　４　委員の任期は１期、２ヶ年とします。ただし、２期、４ヶ年までの継続再任が出来ます。

北海道考古学会委員公募細則
（目的）
第１条　この細則は、北海道考古学会規則第１号「委員及び委員会規則」（以下、規則という。）第２条で規定する委員の選出方法について定めることを目的とする。
第２条　委員は会員の推薦により委員会が候補者を選定し、総会で決定する。

（推薦）
第３条　会員は、「地域委員」を規則第４条別表１の所属する地域に限り、その所属する地域の会員の中から１名を推薦できる。また「運営委員」を会員の中から５名を限度に推薦できる。
（推薦様式）
第４条　会員からの推薦は、様式１にて行う。封書、葉書およびFAXにて受け付ける。
（委員選出）
第５条　委員選出の手続きは次のように行う。
　１）公　示　　文書、だより等で総会の２ヶ月以上前に。
　２）受　付　　総会の２ヶ月前から１ヶ月前まで事務局で。
　３）集計審査　　受付終了直後、事務局で。
　４）候補者選定　（委員会決定）総会直近の委員会で。
　５）候補者公開　総会開催日までに。
　６）委員選出　　総会議決。
（候補者選定）
第６条　会員推薦に基づき委員会での候補者選定は次のように行う。
　１）地域委員　イ審査　被推薦者が会員で所属地域居住者であること。委員辞任後、２ヶ年以上経過した会員であること。
　　ロ集計　地域、被推薦者毎に。
　　ハ候補者選定　地域毎に最大数の推薦を得た会員より順次本人の承諾を得て、１名を選定する。
　２）運営委員　イ審査　委員辞任後、２ヶ年以上経過した会員であること。
　　ロ集計　被推薦者毎に。
　　ハ候補者選定　最大数の推薦を得た会員より順次、本人の承諾を得て、定期改選時は16名以内、臨時改選時は欠員数を選定する。

第４条　別表１　地域委員選出地域表

地区名	所属範囲
第１地区	札幌市
第２地区	石狩管内
第３地区	後志管内
第４地区	渡島桧山管内
第５地区	日高胆振管内
第６地区	空知上川留萌宗谷管内
第７地区	網走管内
第８地区	十勝釧路根室管内
第９地区	東北地方管内
第10地区	本州地区（東北地方を除く）管内

別表２　運営委員業務担当表

業務名	業務内容	定数
会長	会代表、委員会議長	1
副会長	会長補佐	1
総務	総会開催、会庶務業務	２以内
会計	会計事務	２以内
会誌	編集委員、会誌発行業務	2
だより	だより発行業務	２以内
研究会	研究大会、月例研究会業務	２以内
見学会	遺跡見学会業務	２以内
報告会	遺跡発掘調査報告会業務	２以内

１．公募期間　2015年４月９日（事務局必着）まで
２．公募対象外会員
　会則及び規則により委員となることの出来ない会員は次のとおりです。この会員の推薦は無効となります。
　　地域委員　　乾芳宏（第３地域）、野村祐一（第４地域）、高橋勇人（第８地域）
　　関根達人（第９地域）
　　運営委員　　青野友哉、内山幸子、大谷敏三
３．再任対象会員
　現委員のうち、会則および規則により、継続再任が出来る会員は次のとおりです。
　　地域委員　　三谷智広（第５地域）、森久大（第６地域）、林勇介（第７地域）、
　　出穂雅実（第10地域）
　　運営委員　　大島直行、酒井秀治、榊田朋広、坂本尚史、澤井玄、鈴木将太、高瀬克範、
　　田代雄介、村本周三

監査委員の改選ー監査委員の推薦についてー

会則第６条の３の規定に基づき、2015年度から2016年度の「監査委員」を下記のとおり推薦願います。北海道考古学会会員名簿などを参考に、監査委員を同封ハガキまたは同様式に準じた封書にて事務局までご推薦ください。
１．推薦期間　2015年４月９日（事務局必着）
２．推薦様式
　監査委員の推薦様式は運営委員の推薦様式に準じ、一会員につき２名までの会員を御推薦下さい。
３．推薦対象外会員
　現委員のうち、会則および規定により継続再任が出来ない会員は次のとおりです。この会員の推薦は無効となります。
　　千葉英一
４．再選対象会員
　現委員のうち、会則および規定により継続再任が出来る会員は次のとおりです。
　　園部真幸

会誌編集委員の改選ー編集委員の推薦についてー

会則第９条の３および北海道考古学会会誌編集委員会設置要綱（以下「要綱」）２の１の規定に基づき、2015年度から2016年度の「会誌編集委員」を下記のとおり推薦願います。会誌編集委員会は、会員の中か

ら推薦された５名（１号委員）と、運営委員会の会誌担当委員（２号委員）により構成されます。一般会員の中から北海道考古学会会員名簿などを参考に、５名を同封ハガキまたは同様式に準じた封書にて事務局までご推薦ください。

１．推薦期間　2015年４月９日（事務局必着）

２．推薦様式

会誌編集委員の推薦様式は、運営委員の推薦様式に応じ、１会員につき５名までの会員を御推薦下さい。なお、委員への委嘱は会長が行います。

北海道考古学会会誌編集委員会設置要綱（関係部分）

２．組織

１）編集委員会は、会員の中から推薦された５名（１号委員）と運営委員会の会誌担当委員（２号委員）２名との７名の委員により構成され、北海道考古学会会長が委嘱する。

２）編集委員会に編集委員長および副編集委員長各１名を委員の互選により置く。

３）編集委員の任期は運営委員に準ずる。

３．推薦対象外会員

現委員のうち、要綱により継続再任が出来ない会員は次のとおりです。この会員の推薦は無効となります。

阿部明義

４．再選対象会員

現委員のうち、会則および規定により継続再任が出来る会員は次のとおりです。

臼杵勲、越田賢一郎、石橋孝夫、角田隆志

2015年度研究大会
「サハリン・千島ルート」再考

日　時：2015年５月９日(土)　10：00～17：10

場　所：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟　１階W103教室（札幌市北区北９条西７丁目）

テーマ：「サハリン・千島ルート」再考

目　的

北海道の先史文化は、東北地方はもちろんのこと、サハリン・千島列島とも関係をもちながら推移してきたとの認識はひろく定着している。しかしながら、この20年ほどのロシアにおける調査研究の進展は、文化交流回廊としての「サハリン・千島ルート」がつねに機能していたわけではないことを明らかにしてきた。また、機能していた時期については、地域間の影響関係や交流の中身をより具体的に議論できるようにもなってきている。本研究大会では、完新世の先史北海道における「サハリン・千島ルート」の意義を、現在的な観点から整理する。

内　容（予定）

９：30　開　場・受　付

10：00～10：20　開会挨拶・趣旨説明（高瀬克範）

10：20～11：20　福田正宏（東京大学）「サハリンルートの評価（新石器～続縄文並行）（仮）」

＜11：30～12：30　北海道考古学会総会＞

13：00～14：00　熊木俊朗(東京大学)「サハリンルートの評価(続縄文～オホーツク・擦文並行）（仮)」

14：00～15：00　手塚　薫（北海学園大学）・大坂　拓（宮城県教育委員会）「千島ルートの評価（仮)」

15：10～16：10　高瀬克範（北海道大学）「カムチャツカ半島・オホーツク海北岸からみた「サハリン・千島ルート」（仮)」

16：10～17：10　討議（司会：村本周三）

17：10　閉会挨拶

※　研究大会終了後､17：30からニコラスハウス（北海道大学構内）で懇親会を行います（参加費3,600

円)。ふるってご参加ください。

2014年度遺跡調査報告会の実施報告

今年度の遺跡調査報告会は、2014年12月13日(土)に、北海道大学文系講義棟にて開催されました。2014年に北海道内で行われた発掘調査は81件で、その中から14遺跡・９件の報告が行われました。報告遺跡は道内の各地域に及び、時期も旧石器時代から近世（アイヌ文化期）までと多岐に渡る内容となりました。今年度は特にチャシ跡の調査が多かったことを受け、これに関する報告が充実した会となりました。また、厚真町からは中世アイヌ期の集落と豊富な副葬品を持つ墓壙が紹介されました。

当日はあいにくの大雪ではありましたが、会場には会員のほか一般市民の方々も多く来場され、考古学への関心の高さを感じました。今後とも充実した発掘調査成果を広く公開していく必要性を改めて認識しております。

なお、報告会終了後には恒例の懇親会が催され、会場では、情報交換と交流が行われました。

〔発表遺跡〕
① 厚真町　上幌内１遺跡、上幌内２遺跡、一里沢遺跡
② 厚真町　ショロマ４遺跡、上幌内３遺跡
③ 伊達市　若生貝塚
④ 木古内町　札苅７遺跡
⑤ 恵庭市　島松Ｂチャシ跡
⑥ 倶知安町　峠下遺跡
⑦ むかわ町　ニサナイチャシ跡、ノットカチャシ跡
⑧ 別海町　床丹１チャシ跡
⑨ 中川町　オフイチャシ跡、安部志内川右岸遺跡

月例研究会のお知らせ

３月は毎年恒例の卒論・修論発表会です。下記の日時で実施します。

第８回研究会

○日　時：３月21日(土)　15：00～
○会　場：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟（Ｗ棟）５階517教室
※　報告者が確定しましたら、学会ホームページでお知らせいたします。

会費納入のお願い

会の運営には、会員の皆様のご協力が不可欠です。会費の年内納入にご協力いただきますようお願い申し上げます。また、本年度を除く過去３年以上の会費が納入されていない会員には、北海道考古学会誌を送付しておりません。会費納入を確認後、送付いたします。

郵便局口座番号：02770－６－8358　　加入者名：北海道考古学会
年会費：（一般）5,000円　　（学生）3,500円

北海道考古学会だより　　第111号　　2015年２月27日　発行
発行所　北海道考古学会（ホームページ：http://www.h7.dion.ne.jp/~hokkouko/）
事務局：〒052−0031　北海道伊達市館山町21−5
伊達市噴火湾文化研究所内　北海道考古学会事務局
TEL　：(0142)21−5050
FAX　：(0142)22−5445
E−mail：hokkaidokoukogakkai@yahoo.co.jp
印　刷　北海道図書企画　　(011)668−1131